

新型フレーム(硬性)コルセット 装着方法説明書

装着者用

立位の場合

装着される前に、必ず肌着を1枚つけてください。

締め加減は苦しくない程度で結構です。

(外したときにめまいがする場合は少し緩めてください。)

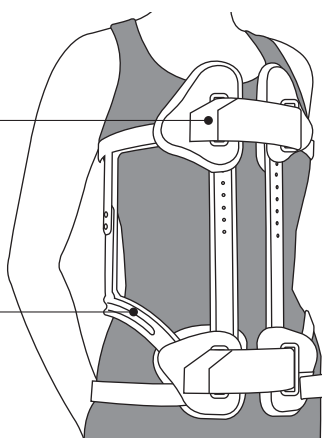
就寝時は基本的に外しますが、主治医の指示に従ってください。

1 フレームコルセットの前後 上下を確認します。

前面

前上部マジックベルト®
ベルトの内側に「前」の
タグがある方が前上部
です。

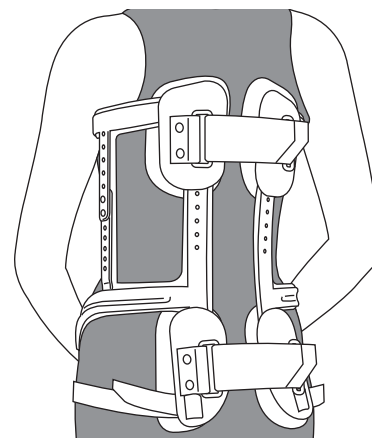
骨盤帯金属フレーム
ウエスト位置に合わせます。



後面

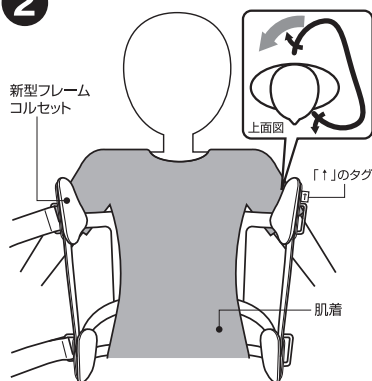
折マジック式

前面同様に折り返し
マジックベルト®を使
用し、臥位(寝た状態)
での装着を容易にし
ました。



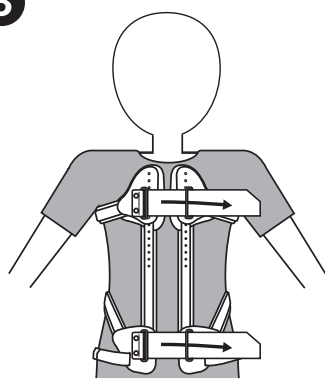
2

新型フレーム
コルセット



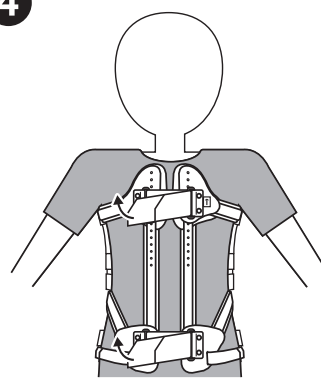
上下やウエストの位置を確かめてくだ
さい。

3



下のベルトはしっかり、上のベルト
は苦しくない程度にしてください。
その時、コルセットの下の縁が骨盤
に十分かかっているかを確かめてく
ださい。

4



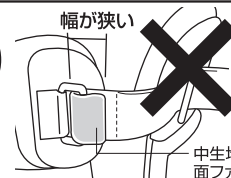
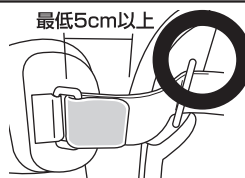
最後にもう一度、全てのベルトを調節
してください。座った時にコルセット
の下の縁が大腿に触るか、触らない
ぐらいが丁度良い装具位置の目安
です。

※仕様等、一部異なる場合がございます。



警告

ベルトの重なり部分(内側部分)は最低5cm
(中生地のない面ファスナーだけの部分では
折り返さない)以上とれるようにしてください。
外れてケガをする恐れがあります。



中生地がない
面ファスナーだけの部分

ぎょうがい
仰臥位の場合
(あおむけ)

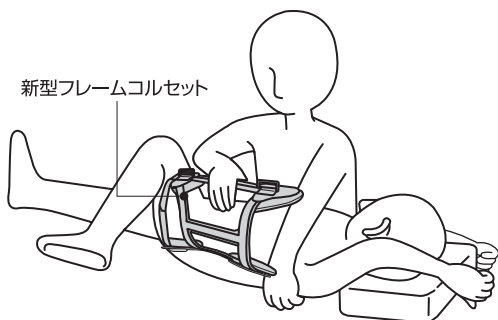
装着される前に、必ず肌着を1枚つけてください。

締め加減は苦しくない程度で結構です。
(外したときにめまいがする場合は少し緩めてください。)

就寝時は基本的に外しますが、主治医の指示に従ってください。

1

新型フレームコルセット



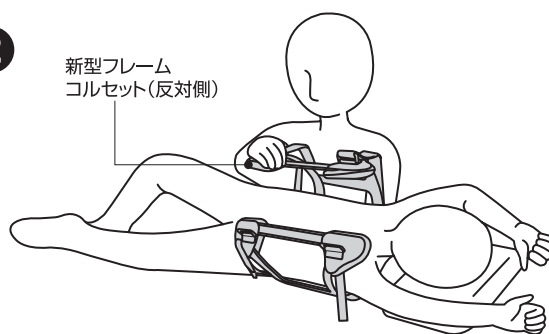
まず、フレームコルセットの上下の確認を必ず行ってください。
次に、あおむけの姿勢から少しだけ寝返りの状態をとっていただき、隙間にコルセットの片側をすべりこませます。
コルセットは左側から入れてください。

※立位の場合と同様にウエスト部分(くびれの大きい部分)を基準に合わせてください。

※ベルトをとめるカン(輪)のある部分が左側です。

2

新型フレームコルセット(反対側)



同様に反対側にもコルセットを差し込みます。

3

4~5cmの隙間

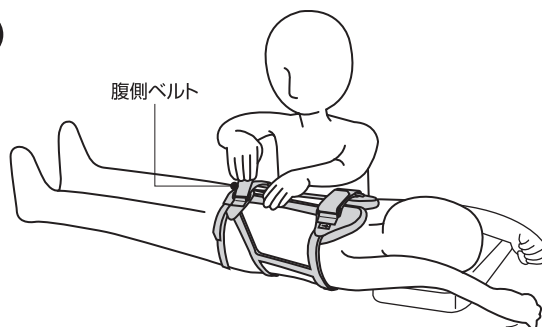


体幹をねじらないように横向きに寝た姿勢をとっていただき背側のベルトを締めます。

※この時、フレームとフレームの隙間を4~5cmあけるようにしてください。

4

腹側ベルト



お腹側のベルトを締めます。なお、あおむけでは少し緩いため座った姿勢もしくは立った姿勢で再度、締め加減の調整をしてください。

※体型により、寝た姿勢では大きくお腹部分が空く場合もございます。

こんなときは？

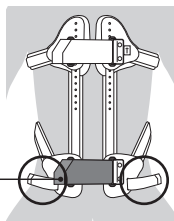
コルセットがずれる

特に腰部のくびれの大きい女性の方によく起ります。コルセットのずれを防ぐためには、一番下のベルトを骨盤にかけてしっかり締めてください。

ずり上がった場合は、お腹を引っ込めてコルセットの下の縁を持って下げてください。

コルセットを骨盤にかけて下部ベルトをしっかりと締める

下部ベルト



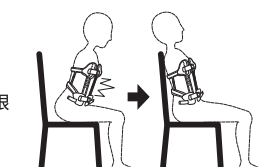
座った時に痛い

コルセットは骨盤をしっかり固定することで効果を発揮する反面、椅子に座る際に太腿がつかえて痛いことがあります。その際は、背もたれのある椅子に少しもたれていただくなどして楽な姿勢をお取りください。

肋骨部分

背もたれのある椅子の使用など

太腿部のつけ根

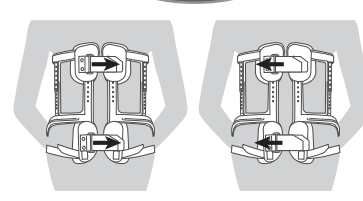


コルセットが緩く(きつく)なってきた

前面のベルトだけでは十分に締まらない場合等、背面のベルトを締めたり、緩めたりして調節してください。

大幅な体重の増減時には調整が必要になる場合があります。

後面



(締める場合)

(緩める場合)

トイレの際などに困る

特に女性の方はコルセットの上から下着をかぶせるようにすると、コルセットを外さずにトイレを済ませることができます。